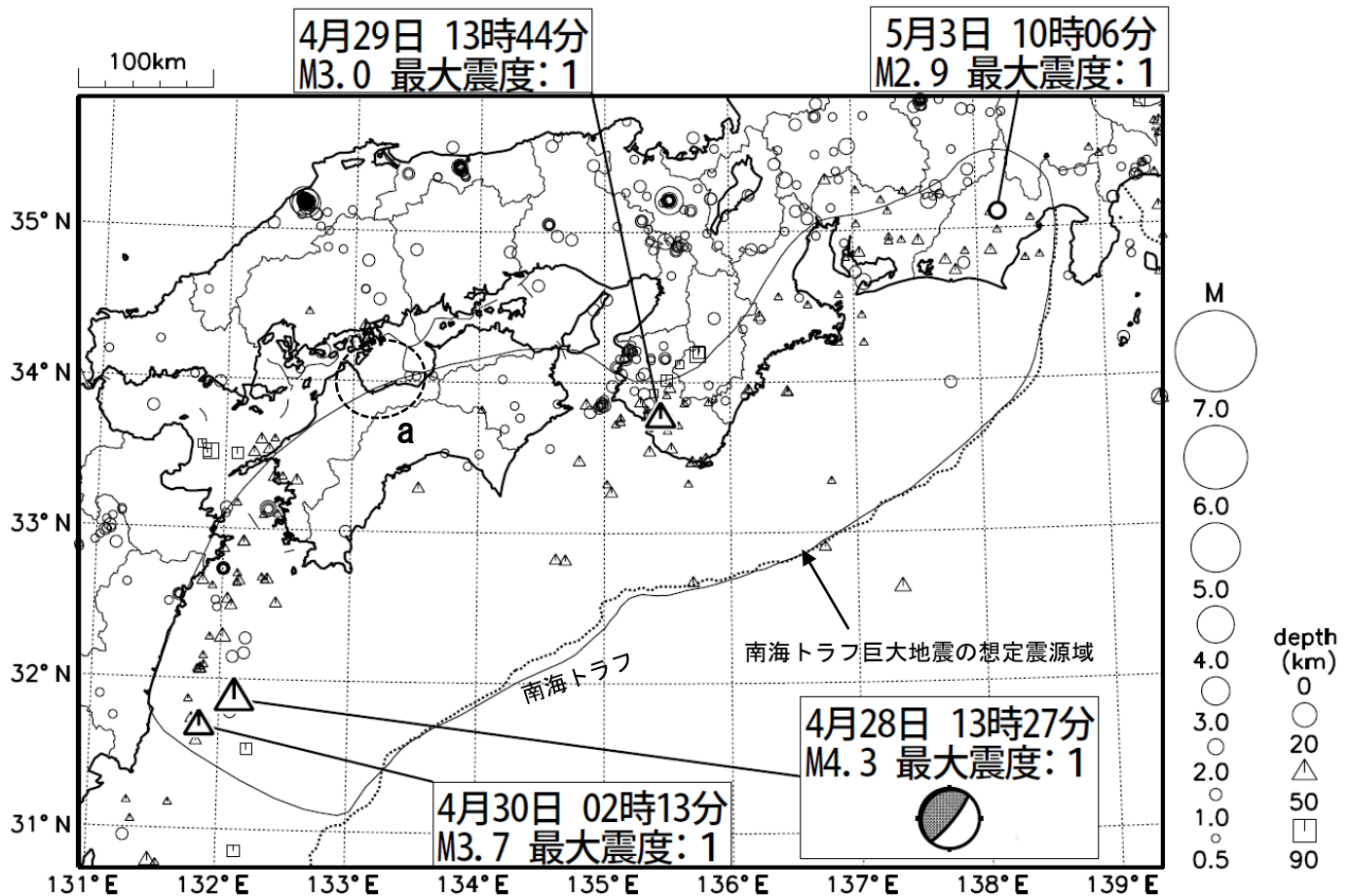


南海トラフ周辺の週間地震活動概況 No. 18

*震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがある。

震央分布図（平成30年4月27日～5月3日）



“南海トラフ巨大地震の想定震源域で震度1以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震”及び“その他注目した地震”に「震源時、マグニチュード、最大震度」を付している（M $\geq$ 0.5、震源の深さ0～90km）。

[概況]

4月28日13時27分に、日向灘でM4.3の地震（最大震度1）が発生した。

[主な地震活動]

- ・4月28日13時27分に、日向灘でM4.3の地震（最大震度1）が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生したと考えられる。
- ・4月30日02時13分に、日向灘でM3.7の地震（最大震度1）が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

[主な深部低周波地震（微動）活動^{※1}と地殻変動]

- ・4月29日から5月2日にかけて、愛媛県付近（領域a）を震央とする深部低周波地震（微動）を観測した。

※1：上の震央分布図には、震源決定精度が高い地震の震央のみを表示している。このため、震源決定精度が低い深部低周波地震（微動）の震央は表示していない。